



『しまの宝』

第8号 R2. 7.21 発行

文責：校長 日高 洋子

旧五輪教会堂に 行ってきました

7月16日、中学校の総合的な学習の時間で「郷土学習」の一環として、旧五輪教会堂に行ってきました。梅雨時期の中休みで良い天気にも恵まれ、世界遺産の教会と久賀の長い歴史を知り、誇りと愛情を身近に感じてきました。久賀島の魅力の一つに「歴史」がありますが、旧五輪教会堂までの道が険しく、簡単ではないことだけでも、生徒には大いに学習になったことだろうと思います。今も地域の方達に支えられながら、静かにたたずむ教会を、坂谷伸子さんの案内をいただきながら、学習しました。



交通ルールを守って 『命』を大事にします

久賀駐在所の末吉所長にお越しいただき、交通安全教室を実施しました。子ども達は横断歩道や信号がある市町から久賀に来ている子がほとんどですので、横断歩道や信号の見方、使い方についてはお手のものですが、「命を大事にすること」については、いくら学習しても足りないぐらいです。久賀小中学校では、グラウンドに道路に見たてたラインを引き、自転車の乗り方なども学習を

しました。学習して実感するのは、「自分の命も、周囲の命も、守っているのは自分自身だ」ということです。交通量の少ない久賀ですが、きちんと交通ルールを守る事の大切さを改めて考える良い機会となりました。

7月19日まで夏の交通安全週間でしたが、民生委員の方や各町内会長の皆さんには朝早くから、子ども達の登校時の見守りをしていただきました。ありがとうございました。



ディサービス センター久賀で交流

ディサービス利用の皆さんと、児童生徒が交流会をしました。学校の目の前にディサービスセンターがあるので、子ども達は徒歩で交流に向かいました。この日のために小学生はクイズを作ったり、中学生はダンスを練習したりして準備をしました。中学生はダンスの得意な彩さんから、ダンスを教えてもらって練習した成果を見ていただきました。また、じゃんけん肩もみトークタイムではじゃんけんして肩もみしながら、楽しく「好きな果物」の話や「久賀の自慢したいところ」「中学校の時の先生は怖かった？」など質問が飛び交いました。子ども達の質問に丁寧に答えていただき、ありがとうございました。



子ども達にとって、サービス利用の皆さんとの交流は年間3回ほど計画があります。子ども達はいつもとは違う場所、人にふれあうことでたくさんを学びます。この日は「優しさ」に触れることができました。きっと、子ども達の心に残る交流会になったと思います。機会を作っていたいただいたサービスの皆さん、ありがとうございました。

松島里央先生（音楽科） ミッチ先生（ALT） お世話になりました

4月から7月13日までの任期で小中学校全学級の音楽を担当していた松島里央先生が、久賀小中学校の勤務を終えることになりました。

新型コロナウイルス感染症対応で、4月に入っすぐに休業になってしまったため、子ども達と過ごす時間が少なくなってしまったのは、とても残念ですが、音楽の授業はもちろん、部活動や昼休みには子ども達と一緒に体を動かして、子ども達との時間を大事にしてくれました。

また、ALT（英語科のアシスタント）として、一年間お世話になったミッチ先生も、7月で退職となりました。授業だけでなく、今年から始まった CatchE でも、楽しい英語を教えてくださいました。明るいミッチ先生は、松島先生と同様に昼休みにはサッカーや卓球をして子ども達と一緒に汗を流しました。

送別セレモニーでは、2人が急遽ギターとピアノ、サクスの演奏を子ども達に聴かせてくれました。出逢った人とは必ず別れるときが来るも

のです。一期一会の出逢いを大切に、相手を思いやり、出逢えたことに感謝をしつつ、2人の先生方とお別れです。

地域の方とは行事が延期されるなどして、あまり交流が持てなかったことが残念です。機会があれば、また久賀に遊びに来てほしいと思います。お世話になりました。

最初で最後の演奏会になりました↓



児童生徒代表で、侑都さんと潤奈さんがお別れのあいさつをしてくださいました。潤奈さんは、ミッチ先生に英語であいさつをしました。↓



南帆さんと福太郎さんは、職員・児童生徒代表で心を込めて書いたメッセージの色紙をプレゼントしました。

